

土浦市ごみ処理基本計画
について



宮本 孝男 議員

△質問▽

土浦市ごみ処理基本計画の中間年度も四分の三が過ぎようとしているが、計画見直しの結果と今後の課題はどのようなものが示されたのか。また、将来の最終処理については、自前の最終処分場で埋立処理をしている状況だが、環境への影響等を考慮した溶融処理等の処理方法についての情報収集や検討、研究は進んでいるか、伺う。

△市民生活部長▽

ごみ処理基本計画の中間年度における計画見直しについては、昨年度廃棄物減量等推進審議会へ諮問を行い、新たな資源回収事業への取組み、事業系ごみの資源化の促進策、ごみ処理施設の更新、ごみ処理手数料の見直しなどの検討を行っていただいている。将来のごみの最終処分については、技術革新が進み、新たに

整備される焼却炉は、焼却灰を出さない直接溶融方式に転換する傾向が強くなっていることや、国の補助制度も溶融処理施設の設置を義務付けていることを視野に入れ、十分検討してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

一 土浦市生涯学習推進計画について



一般廃棄物最終処分場

霞ヶ浦大規模自転車道について



入江勇起夫 議員

△質問▽

新市建設計画に記載されている東西軸の強化という観点から、県道潮来・土浦自転車道線、通称霞ヶ浦大規模自転車道の計画内容や目的、効果、進捗率について伺う。また、手野、田村、沖宿地区の堤防が市道に認定されたが、幅員は約六メートル程度であり、車道と自転車道路を区別するのは難しいと思うが、いかがか。

△市長公室長▽

霞ヶ浦大規模自転車道は、茨城県が、霞ヶ浦とその湖辺における二十一世紀にふさわしい豊かな生活基盤を実現することを目的に、潮来市牛堀を起点とする土浦市川口までの延長約四〇・一キロメートルの区間で、霞ヶ浦の堤防敷を利用した自転車道路を総事業費約二十億円で整備するものである。現在土浦市域は未整備の状況であり、平成十七、十八年度に測量及び調査設計を実施している。幅員六メートルの市道部分を車道と自転車道を区分するのか、兼用するのかといったことについては、国、県、市の三者の協議の中で検討されていくも

のと考えている。

(掲載以外の質問事項)

二 メディア・リテラシー教育について

行政改革への取組みについて



盛 良雄 議員

△質問▽

現在、国、都道府県、市町村等多くの自治体が債権漬けになっており、行財政改革へ真剣に取り組み始めている。本市も第三次行財政改革に取り組みうと計画中であるが、八月の広報つちうらに掲載した、市職員の定員適正化計画の一〇・〇三パーセントという高い職員削減の数値目標は、どのような手法で達成しようとしているのか。

△市長▽

本年六月に制定された行政改革推進法等において、地方公共団体の職員削減割合が過去五年間で四・六パーセントであったことから、当該数値を上回る削減率を織り込んだ新規計画の策定が求めら

市議会の権限

議会には、法律によって多くの権限が与えられています。その主な内容は……

◎議決 条例の制定・改正・廃止・予算の決定、決算の認定、主要な契約等市政の重要な事項について議決します。

◎選挙と同意 議長、副議長、選挙管理委員などの選挙をします。また、助役、収入役、教育委員、監査委員などの市の重要な職に就く人を選任する際には、議会の同意が必要です。

◎調査 市の仕事について調査し、必要な場合、関係者の証言を求めることが出来ます。

◎請願・陳情の審査 請願・陳情を審査して、市民の声を市政に反映させるようにします。

◎意見書 公益に関することについて市議会の意見を政府などに提出します。

◎決議 政治的な効果を期待して、市議会の意志を内外に明らかにするものです。